

新しい年を迎え、気持ちも新たに3学期がスタートしました。1月は「睦月」といわれ、親戚や知人がお互いに行き交って「仲睦まじく」することから名づけられたそうです。1月は行事食も多く、食を身近に感じることが出来ます。子どもたちの健やかなる成長と健康を願い、安心・安全でおいしい給食作りを基本理念として、給食室全員で努力してまいります。今年もよろしくお願いたします。

ぜんこくがっこうきゅうしょくしゅうかん  
**全国学校給食週間**

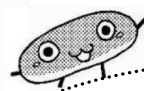


1月24日から30日は「全国学校給食週間」です。学校給食は、明治22年山形県鶴岡市の忠愛小学校で、お弁当を持ってこれない子どもたちにお昼ごはんを作ったことが始まりです。戦争中に一時中断しましたが、ララ(米国の民間団体)などからの援助物資を受け、昭和21年12月24日に、三都県(東京、神奈川、千葉)で試験的に再開されました。この日を記念して「学校給食感謝の日」として定められ、その後、冬休みに重ならない1月24日から30日を「全国学校給食週間」とし、給食の意義や役割について、理解や関心を深める週間となりました。

にほん がっ こう きゅう しょく あゆ



## 日本の学校給食の歩み



★1月24日に、昭和20年代の献立を再現した給食を提供します。



おにぎり 塩さけ 菜の漬物

学校給食は、明治22年に山形県鶴岡町忠愛小学校で、貧しくて生活に困っている児童を対象に昼食を出したことが始まりとされています。



【昭和22年献立】 ミルク(脱脂粉乳) トマトシチュー

戦後、栄養失調状態の子どもたちを救うため、アメリカの民間団体からの援助物資(ララ物資)により、昭和21年12月24日に学校給食が再開されました。



【昭和27年献立】 コッペパン ジャム ミルク(脱脂粉乳) くじらの竜田揚げ 千切りキャベツ

アメリカからの寄贈小麦を使用したパン、ミルク、おかずによる完全給食が8大都市で実施されました。



【昭和49年献立】 ぶどうパン 牛乳 ハンバーグ 千切りキャベツ 粉ふき芋

昭和39年以降、学校給食に本格的に牛乳が取り入れられるようになりました。



【昭和54年献立】 ごはん 牛乳 チーズ がめ煮 ヨーグルト

米飯は、教育上有意義と考えられ、昭和51年以降は米飯給食が広がりました。

